

# 地域環境保護協力金に9割以上が理解を示す

## 小原林道の利用者からアンケート調査を実施

市では、小原地域の環境保全や利用のあり方などについて、これまで小原区および小原生産森林組合と協議を重ねてきました。

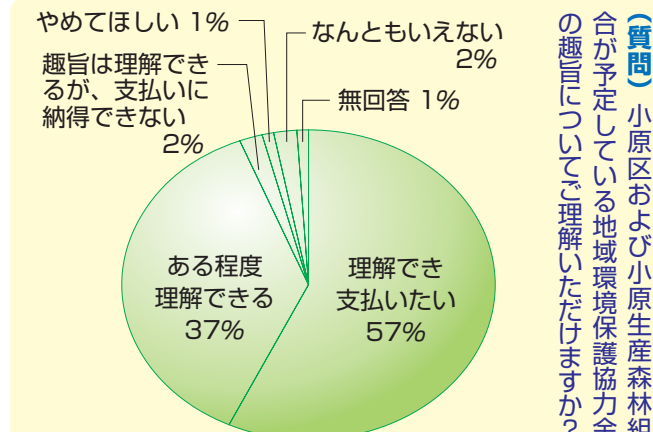
そして、7月上旬に、勝山市と小原区、小原生産森林組合が実施主体となり、環白山保護利用管理協会の協力を得て、林道小原線終点付近で、小原における地域環境保護協力金等に関するアンケート調査が実施されました。登山者188人のかたから回答をいただきました。その調査結果がまとまりました。

このアンケートでは、小原地域の自然環境の保全を図ることを目的に

- ・ 地域環境保護協力金
- ・ 林道の夜間通行規制
- ・ ペットの持ち込み制限
- ・ 登山者の住所や登山理由

### 地域環境保護協力金の徴収等

右に示すグラフは、地域環境保護協力金についての回答状況を示すものです。



められています。協力金の使途については、「トイレ」が約70%と最も高く、次いで「登山道」、「標識・標柱」、「駐車場」「植生の復元」の順でした。

### 林道の夜間通行規制について

ある程度も含めて「理解できる」は83%となり、夜間の通行規制についても十分な理解が得られた結果となっています。

ゲートのオープン時間については、「午前5時」がほぼ半数を占め、登山者の早期行動の原則が結果に現れています。

### ペットの持ち込み制限について

ある程度も含めて「理解できる」は83%となり、登山者の理解が得られた結果となりました。

ただ、愛犬家の行動制限やペットオーナーとのトラブルを心配する声もありました。

### 今後の方針

● 協力金（大人300円、中学生以下100円）のお願いは、9月1日から林道入り口ゲート付近で実施しています。

● ペットの小原区域内への持ち込み制限では、ペットの一時預かりは当面見合わせますが、ペットの持ち込みはご遠慮ください。

〔担当〕小原区および小原生産森林組合

● 夜間通行規制は、午後5時から翌朝6時までとします。

### 〔担当〕勝山市

なお、協力金を管理する小原区および小原生産森林組合では、協力金の使途を公開して利用者により一層のご理解を得たいとしています。

〔問〕農林政策課（☎内線284・285）

### エコツーリズムで小原を復活



國吉一貫さん（38）は、「小原には伝えたい資源や文化が現存しています。しかし、高齢化や過疎化が進む小原を放置できない。今ここで立ち上ろう」と小原地区や小原生産森林組合と協力して、小原ECOプロジェクトを立ち上げました。その代表である國吉さんは、「エコツーリズムという手法で、小原の村の復活と人工林地の荒廃への対応、天然林の保全活用を3本柱とした取り組みを実施しています。協力金のお願ひもそのひとつ。今の取り組みはエコミュージアムの縮小版ですね。」と説明してくれました。

エコツーリズムとは、自然や文化を理解して保全に努め、地元に残る産業などを持続し発展させる取り組み。國吉さんは、「数百年先も小原のあるべき姿であってほしい。」と切実な思いを語っていました。

〔市長〕 現地視察は、ご指摘のとおり。工期については発注して放置することがあれば、厳しく対処する。

〔部長〕 7月から定めた手順に従い随意契約している。これにより工期をしっかりと定め、一定期間に工事が終了し効果が上がっている。

〔問〕 旧市街地には狭い道路があり、災害時に避難所へ移動できるか不安。また、夜間や冬期間の避難方法についても検討いただきたい。

〔市長〕 安心安全なまちづくりの観点に立ち対処したい。現実には即した防災訓練も考えたい。

〔問〕 庁舎の耐震補強にどれくらいかかるのか。耐震診断ドラックならば、補強工事より建て直しが安く済むのではないか。避難所の耐震状況はどうか。

〔部長〕 庁舎の耐震補強は外付け補強の場合1〜2億円と見込まれるが、交付税措置の対象となる。建て直す場合、数10億円となり、現実的に厳しい。避難所も耐震診断を計画的に進めている。公共施設は概ね診断済み。

〔問〕 次回の「市長と」なんでも語ろう企画は11月27日を予定しています。追ってご案内いたしますので、多くの方の参加をお待ちしています。

〔問〕 未来創造課（☎内線231・232）

# Climbing Victory Mountain

## Pensacola

勝山市国際交流員 ニコジット・ティアーニ



私は学生時代の3年間、アメリカのフロリダ州に住んでいたことがありますが。フロリダはアメリカの南東に位置しており、気候はトロピカル（熱帯）で、夏は日本の夏のようにとても蒸し暑い。冬は短く、あまり寒くありません。暖かい日には12月でもビーチで日光浴をしている人を見かけることもあります。

毎年、多くの観光客がフロリダを訪れます。また、老後の生活をゆったりと暖かい気候で過ごすべく、多くのアメリカ人は引退後、フロリダに移り住みます。フロリダ州は日本と同じように、毎年のように秋頃になると、ハリケーン（台風）に襲われます。私は一度だけハリケーンを体験しました。ものすごい雨と風が何時間も続きました。始めは学校の授業が中止になったので嬉しかったのですが、電気と水が3日間止まってしまったので、大変だった記憶があります。

私がフロリダ州に住んでいた街はペンサコーラといえます。ペンサコーラはフロリダ州の北西に位置しており、人口は約6万人で、決して大きな街ではありません。過去には、この地域は

イギリス、フランス、スペインによって治められており、現在はアメリカ初の海軍基地がある街として有名です。ペンサコーラの一番の魅力はメキシコ湾に面する真っ白いビーチです。かつては、世界で一番白いビーチという称号がつけられるほどでした。シーズン中は多くの観光客や家族連れが、パーキューや日光浴をしながらビーチでのひと時を楽しみます。また、サーフィンと釣りをする人達もたくさんいます。

車で海沿いを走ると、青い空をバックに真っ白のビーチと透き通る海が何キロも続き、とても幻想的できれいです。そして道中どこでも車を止めて海辺に歩いていくことができます。しかし、メインビーチ以外のところは監視員がいないので、もし溺れそうになったり、鮫に襲われたりしても、助けにくれる人がいません。まさにハイリスク・ノーリターンな海です。

皆さんも機会があれば、是非一度、南の楽園フロリダを訪れてみてはどうですか。



## 8月開催の「市長となんでも語り合おう」の内容報告

「不祥事の再発防止に向けた取り組みと入札制度の改善」と「防災対策」をテーマに、「すこやか」の多目的ホールで開催され、75名の出席がありました。

勝山市では、不祥事の発生に伴い徹底的な原因究明と再発防止のために、庁内で副市長を委員長とする検討委員会を立ち上げました。その委員会報告が行われ、事件発生以降の経過報告や法令遵守の研修実施、倫理規定の整備、入札制度の改善などの説明がありました。

防災対策では、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の記録を綴ったDVD「5・46の衝撃」を上映し、当時の被害者らの生の声を聞きました。この映像では、大災害が発生したとき、近所の住民同士の相互協力や地域情報が何よりも威力を発揮したとのこと。また、プライバシーの保護のための環境整備も重要な事でした。

これらの報告や説明に対する主な質疑応答は次のとおりでした。

〔問〕 土砂災害未然防止のための危険区域の現地視察は、地元の意見をよく聞いて対応してほしい。また、金額の小さい随意契約の工事は、別の大きな工事の空き時間を利用してやっているように思うので、工期をはっきり明記してほしい。

〔問〕 未来創造課（☎内線231・232）

